

第3回
【最終回】

R5 12/20 開催

北区認知症フレンドリーアイデアミーティング

認知症になってもはたらく!!

- 認知症になっても社会参加できる地域社会をめざして -



令和5年12月20日(水)に今年度、最後となる「第3回 北区認知症フレンドリーアイデアミーティング」を開催しました。

最終回は、第1部で認知症になっても「社会参加・はたらく」取り組みについての講演。第2部では、第1回、第2回の意見・アイデアを踏まえ、認知症ご本人の「やりたいこと」を実現できるチームづくりとプロジェクトの試作についてアイデアを出し合いました。

01 ミニ講演会：「社会参加・はたらく」のこれからを考える

第1部では、福岡県大牟田市を拠点に認知症の方の社会参加等に取り組まれている猿渡進平さんから、認知症ご本人が「やりたいこと」を実現するための介護サービス事業所におけるポイントや、企業・地域とのコミュニケーションの取り方などについて、ご講演いただきました。

会場の参加者からは「はたらく」ことについての考え方などに関する質問が出されました。

【当日のプログラム】	
第1部 ミニ講演	「社会参加・はたらく」のこれからを考える - 誰のためか?何のためか?本当にそうなのか? - 講師 猿渡進平さん (白川病院医療連携室長(大牟田市))
第2部 アイデア ミーティング	「社会参加」モデル事業実践に向けて - アクションプランを作ってみよう -



02 アイデアミーティング：「社会参加」モデル事業実践に向けて



第2部では、これまでのアイデアを踏まえて設定した、以下のような「4つのはたらくプロジェクト」ごとにグループに分かれ、プロジェクトの実現に向けたアイデア出しを行いました。



03 アイデアミーティングのアイデア発表

最後に各グループで出されたアイデアを発表し、参加者全員で共有しました。

発表では、プロジェクトを進める上で連携できそうな企業・店舗や活動の輪を広げていく仕組みなど、具体的なアイデアが出されるグループもあり、すぐにでも取組みを進めようという雰囲気も感じられました。

各グループで出されたアイデアや意見を以下にご紹介します。



グループ① { **おばあちゃんとわらべうたプロジェクト** }

介護サービス事業所の近くに保育園があるため、園児にわらべうたや絵本の読み聞かせができると良い。保育園と継続的なつながりを持ちたい。

以前、保育園の園長をしていたので、子どもと関わっていたい...

グループ② { **カレー食堂プロジェクト** }

特技のカレーづくりだけでなく、趣味の麻雀を活かして、介護施設等で麻雀の相手をできれば、「はたらく」ことになるのでは。

何か集まる場所があれば嬉しい。

グループ③ { **体を動かす!お仕事創出プロジェクト** }

社用車の洗車や我が社の茶畑の管理、茶葉の袋詰め、電球交換など、地域で「はたらく」選択肢を増やせるとよい。

ご本人とサポートする人がペアで活動することで、やれることの範囲も広がるのではないかと。

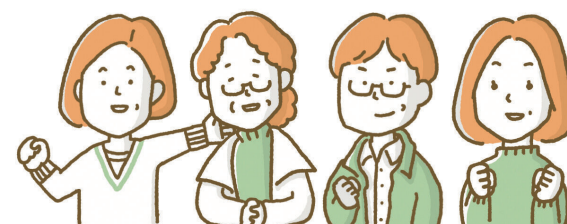
グループ④ { **新聞紙でエコバックプロジェクト** }

介護サービス事業所の周りでエコバックを置いてもらえそうな場所を探せると良いのでは。例えば、喫茶店、調剤薬局、スーパーなど

まず試作品を作り、ご本人さんと営業に行けると良いのでは。

事業所間で連携するためにエコバックの作り方講座を開催してはどうか。

04 今後の予定



来年度は、北区と区内の介護サービス事業所が、認知症ご本人の皆さんとともに、いくつかのプロジェクトを実現していく予定です。

来年度の北区認知症フレンドリーコミュニティの取組みもご注目ください!